※令和４年度以降入学生用

学校番号	3018

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	生活支援技術 （分野：医療的ケア）	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	「生活支援技術」　（実教出版）						
副教材等	「改訂介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト」（実教出版） 「見て覚える介護福祉士国試ナビ」（中央法規）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

医療的ケアを必要とする人の自立した生活を支援するための安心・安全な医療的ケアを学びます。２年生では、医療的ケアを必要とする利用者に安全で的確な喀痰吸引、経管栄養、医療職との連携などの基本的な知識や技術を身に付けます。

①医療的ケアを必要とする人やその医療的ケアの方法について興味や関心を持って授業に取り組み、医療的ケアの演習やグループワークなど、積極的に参加しましょう。

②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

２　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、適切で安全・安楽な生活支援技術を提供するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

①自立生活の支援について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。

②自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。

③健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自立生活の支援について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	第Ⅰ部総論	第Ⅰ部総論 第1章　人間と社会 1　介護職員と医療的ケア 2　介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	a:介護職員が医療的行為を行うに至った背景に関する様々な資料や情報を収集し、介護福祉士等が喀痰吸引等をできる要件や行為について理解している。 b:医療行為をするうえで、介護職員にとって重要なことについて思考を深め、適切に表現している。 c:医療を提供する介護職員としての基本的な考え方について探究しようとする主体的な態度を身につけている。	定期考査	定期考査 ワークシート 観察	ワークシート 観察 発表
		第2章　保健医療制度とチーム医療 1　保健医療に関する制度 2　医療的行為に関する法律 3　チーム医療と介護職員との連携	a:医療的行為に関する法律や様々な資料や情報を適切に活用し、医行為と医療的行為の関係性について理解している。 b:喀痰吸引と経管栄養について医師・看護職員と介護職員の連携方法について思考を深め、適切に表現している。 C:喀痰吸引と経管栄養についての医師・看護職員と介護職員の連携の重要性について探究しようとする主体的な態度を身につけている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ワークシート 観察	ワークシート 観察 発表

※令和４年度以降入学生用

2学期	第Ⅰ部 総論	第3章　安全な療養生活 1　喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 2　救急蘇生法	a:様々な資料や情報を活用し、喀痰吸引や経管栄養におけるヒヤリハットやアクシデントとはどのようなものがあるか理解している。 b:喀痰吸引や経管栄養のリスクマネジメントについて思考を深め、適切に表現している。 c:喀痰吸引や経験栄養の安全な実施や救急蘇生法について探究しようとする主体的な態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ワークシート 観察	ワークシート 観察 発表
		第4章　清潔保持と感染予防 1　感染予防 2　職員の感染予防 3　療養環境の清潔、消毒法 4　減菌と消毒	a:排泄物や吐しゃ物、血液や体液の処理に関する様々な資料や情報を活用し、介護現場における標準予防策（スタンダード・プリコーション）について理解している。 b:居室、トイレ、キッチンの清潔を保つ方法について思考を深め、適切に表現している。 c:介護職員としてできる感染予防策について探究しようとする主体的な態度を身につけている。	定期考査	定期考査 ワークシート 観察	ワークシート 観察 発表
		第5章　健康状態の把握 1　身体･精神の健康 2　健康状態を知る項目 3　急変状態について	a:バイタルサイン（体温、呼吸、脈拍、血圧）について理解し、急変時の対応と事前準備に関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 b:健康状態の平常時と異常時の違いについて思考を深め、適切に表現している。 c:利用者の観察やバイタルサインなど健康状態を知る方法について探究しようとする主体的な態度を身につけている。	定期考査	定期考査 ワークシート 観察	ワークシート 観察 発表

※令和４年度以降入学生用

3学期	第Ⅰ部 総論	第Ⅱ部　高齢者および障がい児・者の喀痰吸引 第1章　高齢者および障がい者の喀痰吸引概論 1　呼吸のしくみとはたらき 2　いつもと違う呼吸法 3　喀痰吸引とは 4　人工呼吸器と吸引 5　子どもの吸引について 6　吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 7　呼吸器系の感染と予防（吸引に関して） 8　喀痰吸引による危険、事後の安全確認 9　急変・事故発生時の対応と事前対策	a:呼吸のしくみや人工呼吸器のしくみについて理解し、喀痰吸引により生じる主な危険の種類や危険防止に関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 b:人工呼吸器のしくみと生活支援における留意点について思考を深め、適切に表現している。 c:吸引を利用する当事者や家族の気持ちやその気持ちに寄り添った対応について探究しようとする主体的な態度を身につけている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ワークシート 観察	ワークシート 観察 発表
		第2章　高齢者および障がい児・者の喀痰吸引実施手順解説 1　喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2　吸引の技術と留意点 3　喀痰吸引にともなうケア 4　報告および記録	a:吸引で用いる器具や器材のしくみや清潔保持の方法について、また、吸引の実施手順と吸引中の留意点を理解している。 b:喀痰吸引にともなうケア（たんを出しやすくするケア、体位を整えるケア、口腔内のケア）について思考を深め、適切に表現している。 c:喀痰吸引実施にともなう利用者の身体変化（バイタルサイン・呼吸状態・顔色など）について、探究しようとする主体的な態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート 観察	ワークシート 観察 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度